

わけもん きばっちょっど

未来に届け 第11回

問 今回は、高鍋高校野球部を紹介するっちゃろ…。聞いたところによると甲子園出場の常連校じゃったっちゃろ？どんげじゃったか教えてよ。

答 いまかい高鍋高校野球部を紹介すつが。初代監督が平原さんで、県勢初の甲子園出場を果たし、平原野球を基軸に夏の大会ではベスト4の戦績を残されて、今でも町民からリスペクトされる方なつよ。ここんどこ寂しい結果になっているけど、今後の町民の期待を込めて紹介すんね。



昭和29年 甲子園初出場入場式

『高鍋高校野球部』

高鍋高校野球部の練習は、野球部平原美夫初代監督像に対しての一礼から始まる。

あと約2年で学校創立100周年を迎える高鍋高校。その野球部の歴史は高鍋町にとって誇れるものだ。昭和29年に夏の甲子園県勢初出場を果たし、以降夏6回、春選抜4回の計10回出場。春はベスト8、夏はベスト4まで勝ち進んだ。その高鍋野球=平原野球は、今なお選手に受け継がれている。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い2020年夏の甲子園開催がなくなったが、選手達は落ち込む姿を決して表に出さず、ひたむきに練習に励んでいる。

現在の高鍋高校野球部山本一夫監督を筆頭に野球部後援会、野球部OB会、保護者会と地元高鍋の小学校、中学校指

導者（高鍋高校野球部OB会）が一丸となって、まず甲子園出場、そして宮崎県勢初の全国優勝旗の奪取に向けて頑張っています。是非、グラウンドに足をお運びください。

高鍋町の皆様方の熱い声援を宜しくお願いいたします。

投稿者 小澤 正隆



【部員数】1年生：18名 2年生：21名 3年生：19名 マネージャー：5名

【主な実績】第45回宮崎県高等学校1年生大会 優勝

第144回九州地区高等学校野球大会宮崎大会 3位

【ひとこと】

素晴らしい施設、OB会や後援会からの充実したサポート。恵まれた環境の中で、「甲子園で勝つ」を目標に活動しています。先輩後輩の仲も良く、チームの雰囲気が良いのが特徴です。熱い高校野球人生はここから始まる！

【チームスローガン】 **挑戦者** 粘り強く・全員野球



編集後記

コロナ禍の中、高鍋町でも海水浴場の開設中止や、さまざまなイベントの中止により、例年とは違う少し寂しい夏となっております。

6月議会では、コロナウイルスの影響を受けた業者への支援や、特別定額給付金などの専決処分の承認、総合体育館大規模改修工事、舞鶴公園の整備事業、中学校トイレ改修工事等の補正予算の審査をおこないました。

この数カ月間コロナウイルスへの対応を経験して、非常時の素早い対応には、日頃からの議員同士や職員との信頼関係が大事だと実感をしています。これから災害の多い季節がやってきますので、この経験を生かしていきたいです。

不便な生活が続きますが、一日も早く以前のような日常を取り戻せることを心より願います。

古川 誠・記

（表紙写真）

▼六月の梅雨空にみずみずしく

映えるアジサイの花
（道路の脇で可憐に咲き誇っていました）